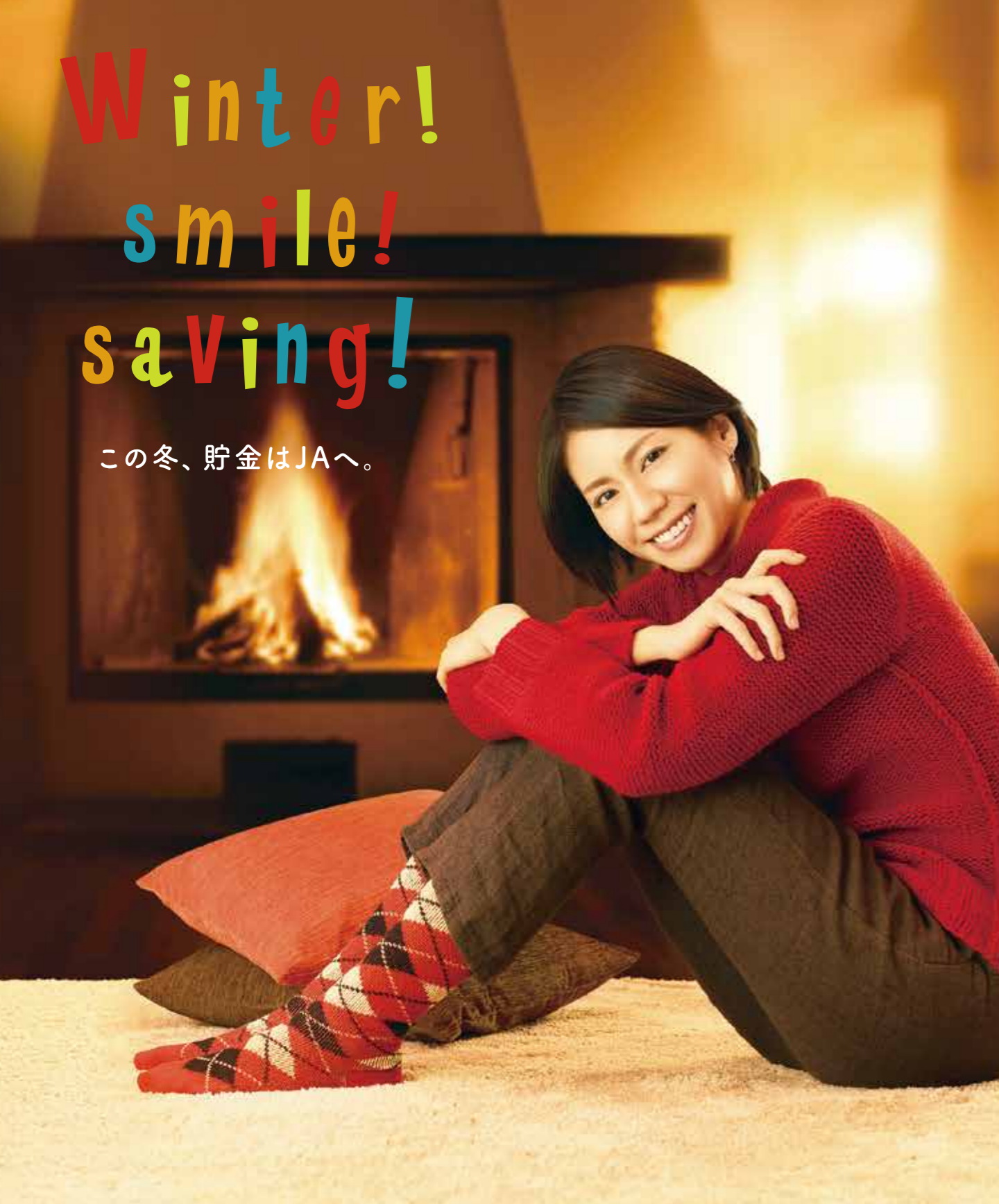


Winter!
smile!
saviNg!

この冬、貯金はJAへ。



耕そう、大地と地域の未来。


 JAバンク新潟県信連

新潟市中央区東中通一番町189番地3 TEL 025-230-2121(代) URL <http://shinren.jabank-niigata.or.jp>

Culture Niigata

2016.12-2017.02
vol.89

【平成28年11月25日発行】発行・編集／(公財)新潟県文化振興財団 編集・制作／樹園東朝日広告社 印刷／昭栄印刷機

 公益財団法人
新潟県文化振興財団

新潟文化情報誌
カルチャーにいがた

2016.12-2017.02
vol.89

— “感動”が人をつくる —
Culture
Niigata




NEXT STAGE

— 情熱の行方 —
ソプラノ歌手 高橋維

親子で楽しもう

新潟イベント情報

— シリーズ —
URAKATA 

NEXT STAGE

—情熱の行方—

これからの舞台芸術を担う、新潟ゆかりのアーティストを紹介する「NEXT STAGE」今回は上越市出身の高橋維さん。透明感に満ちた、軽やかで華やかな歌唱と、気さくな人柄で多くの人を魅了するソプラノ歌手である。これまでの歩みと今の思いを伺った。

ソプラノ歌手
高橋維 Yui Takahashi



中学のときの合唱でみんなで歌う喜びを知りました それが今の私の原点です

—声楽を始めたきっかけから教えてください。

通っていた中学校がとても合唱に力を入れていました。幼い頃からピアノを習っていたので最初は伴奏担当だったのですが、途中から伴奏は音符がやたら多くて難しいし、歌う側は音符が少なくていいなって思えてきて(笑)。実際、歌ってみたらとても楽しかった。母が音楽講師で、合唱の指揮者をやっていたこともあって「歌をやりたなら、声楽の専門家に学んだ方がいい」と言われ、高校2年から月に1、2回、新潟市内まで声楽を習いに通いました。上越から片道2時間かけて。

—その頃からプロを目指していたわけですか？

いいえ。最初は音楽の先生になろうと思っていたの



8歳の頃 ピアノ発表会

で教育系大学の音楽科に進学しました。4年間、学ぶ中でもう少し歌の技術を習得したくなって大学院へ。そこで院生による「大学院オペラ」に参加し、オペラの楽しさを知って「将来は、プロの歌手になりたい」という気持ちに変わっていきました。

—どんどこが楽しかったのでしょうか？

小さい頃から妄想するのが大好きで、よく自分以外の何者かになった姿を想像して遊んでいました。だから、ただ歌うだけでなく、お芝居の要素があるオペラにすごく魅力を感じたんだと思います。また、オペラは基本的に西洋の昔の話なので、どこか非現実的。そこも面白いなど。

—そして東京藝術大学の大学院を経て二期会の研修所へ。

藝大では独唱専攻で、歌曲などを勉強していたのでオペラはほとんどやっていなかったんです。本格的にオペラを学びたくて研修所に入ることを考えました。実は、学年が1つ上の先輩で、同じ上越市出身で小中高大、大学院とずっと同じ学校の宮澤彩子さんというメゾ・ソプラノ歌手の方がいるんです。彼女が先に二期会の研修所へ入っていたので、事前にお稽古や試験の内容をいろいろ教えてもらいました。大変そうだなと思いつつも自分がかなり鍛えられそうな気がして、私も入ることにした次第です。

新潟県音楽コンクールで 得た大きな自信

—23歳のとき、新潟県音楽コンクール声楽部門で大賞を受賞されていますね。

高校時代から参加していたコンクールです。院生のときによく大賞をいただきました。その前年、のどの病気を患って思うように歌えなかった。それもあってこの年に勝負をかけていました。まさか大賞がいただけるとは思っていませんでしたが、歌で賞をもらったのは初めてだったので、少し自信もつきました。その後の私の人生を決める、大きな転機になったのは確かです。

—また、学生時代からソリストとして様々なコンサートにも出演されていました。

いずれも人づてに声をかけていただいて実現したことです。また、先輩の紹介でクラシックを生演奏するレストランで歌わせてもらったり共演をした方や、演奏を聴いてくださった方から声をかけていただいたり。そんな具合に、人のご縁で仕事をいただき、経験を積み重ねることで歌手としての礎を築いていった気がします。

—そうした経験をより実りのあるものにするため、何か工夫したことはありますか？

例えば、レストランで歌う場合、自分が歌いたい曲ばかり選んではダメだ、お客様の目線に立つことが大切だと思い、あえてクラシックではない曲を取り入れてみたり、オペラの歌曲でも耳なじみのあるものを選んだり。食事中ならこんな曲がいいかな、このレストランの雰囲気に合わせて華やかなオペラのアリアを歌ってみようと考えながら曲を選ぶようにしていました。とにかくその場をお客様に楽しんでいただけるパフォーマンスを心がけていました。



幼い頃からの妄想癖が オペラの演技に 役立っています！

—ここ数年はオペラへの出演も増えています。オペラは演技が必要になってくるので大変なのでは？

実を言うと、オペラ経験はまだ日が浅く、技術面では全然足りていないのですが、小さい頃、妄想ばかりしていたことが意外に役立ち、いろんなキャラになりきって歌ったり動いたりするのは意外に平気。というか、むしろ演じることを心底楽しんでやれています(笑)。

—特に自身にとって大きな意味を持つ出演作は？

昨年からようやく大きな舞台にも立たせてもらうようになったのですが、その一つの二期会オペラ劇場公演『魔笛』です。演出の宮本亜門さんに、私は夜の女王役に抜擢していただいたのですが、いやあ、本当に緊張しました。夜の女王は、出番が3回しかないのですが、彼女の登場シーンはすべて『魔笛』の中でもとりわけ重要な見せ場。お客様も夜の女王のアリアを期待して観に来てくださっている。だから、舞台上立った瞬間、客席の空気が変わるのもわかるし、お客様の“期待”が待ち構えているのがバシバシ伝わってくるんです。本気で舞台から逃げ出したかった。まさに死ぬ思いでしたね。でも、この舞台を経験したおかげで度胸はつきました。今年9月、名古屋での『魔笛』上演でまた夜の女王を演じさせてもらったのですが「今度は死なないぞ！」と思えましたから(笑)。



東京二期会オペラ劇場2015年7月公演『魔笛』©三枝近志

—最近、うれしかったエピソードなどありますか？

今年出演した『フィガロの結婚』では、歌も演技も全然うまくいかなくて、稽古の流れを何度も止めてしまうことがありました。さすがに落ち込み、途方に暮れてしまったわけですが、そんな私にある先輩が「君が舞台上に命をかけているって感じる。だから大丈夫だよ」と声をかけてくださって。おかげですって気持ちが楽になりました。

—素敵な先輩ですね。

そうなんです。今のところ、私はどこの現場でも下っ端で、まわりは百戦錬磨の先輩ばかり。でも、どの先輩も仲間として私に接してくれる。それが何より嬉しいです。

—オペラの舞台上で一番好きな瞬間は？

やはりカーテンコールですね。毎回、あの光景は目に焼きつきます。演じているとき、客席は暗くて見えないのですが、カーテンコールの瞬間、こんなにたくさんのお客様がいたんだと気づかされ、感無量の心持ちになります。それと、そもそも合唱が好きでこの世界に入っているの、たくさんの人と協力し合っって一つの舞台を作り上げていくというオペラそのものに魅力を感じています。

セルフプロデュースが大事な職業 いつも自分の良さに目を向ける

—ソプラノ歌手として心がけていることはありますか？

先ほどの話と矛盾するかもしれませんが、できる限り、自分が「できていない」ことではなく、ソプラノ歌手としての私の良さに目を向け、そこを伸ばす方法を探るようにしています。この仕事はすごくセルフプロデュースが大事だと思っていて、だから、どんなにやりたい役でも私の声や容姿に合わなければやらない方を選択するようにしています。

—プロデューサー的視点で、ご自身の歌声をどう評価されているのですか？

私は高い音域を歌うソプラノなので、華やかで明るい歌曲が合う。実際、そういう曲を歌う機会が多いのですが、性格がちよっと根暗なので(笑)、陰りを帯びた音色の曲も似合うと思っています。今後は叙情的な表現をより磨いていきたいです。

—今後の予定を教えてください。

先日、五島記念文化賞(五島記念文化財団主催)のオペラ新人賞をいただき、その副賞として17年の1年間、ウィーン研修をさせていただくことが決まりました。オペラとクラシックの本場でいろんなものを吸収してこようと思っています。そしてパワーアップして戻ってきたい。そして、帰国後は、故郷である新潟のみなさんにも、オペラやクラシックコンサートをもっと楽しんでもらえるよう、私にできることをしていきたいと思っています。

舞台写真提供：(公財)東京二期会 撮影協力：新国立劇場(東京都)

Question & Answer

Q. 休日の過ごし方は？

基本的にインドア派。家にいて映画やアニメを観ていることが多いです。高校時代は美術部だったくらい絵を描くのも好きなので、気が向くと絵を描いたりもしています。

Q. 一番、リラックスするのはどんなとき？

やはり家にいてアニメを観ているときです。でも、散歩も好きでふだんは家の近所をよく歩いています。今年9月、公演のため名古屋に1カ月滞在した際は、名古屋の名所を巡ったり、名物の食べ歩きを楽しみました。

Q. 好きなアニメは？

「新世紀エヴァンゲリオン」です！これはもう語り出したらとまらなくなるので、ここではやめておきます(笑)。

Q. では、好きな映画、小説は？

ファンタジーものが好きです。少し現実離れしているものが好きなんです。だからこういう仕事をしているというのもあります。

Q. ご自身の性格を自己分析すると？

とにかく小さい頃からマイペースですね。B型とよく間違えられますが、血液型はA型です。

高橋 維

新潟県上越市生まれ。東京学芸大学大学院音楽教育専攻音楽コース、東京藝術大学大学院修士課程独唱専攻修了。二期会オペラ研修所マスタークラス修了。ソリストとして国内オーケストラと多数共演。オペラでも数々の舞台に出演。2015年は二期会ニューウェーブ・オペラ公演『ジュリオ・チェザレ』クレオパトラ役、二期会オペラ劇場公演『魔笛』夜の女王役、16年は二期会オペラ劇場公演『フィガロの結婚』スザンナ役、あいちトリエンナーレ2016プロデュースオペラ『魔笛』夜の女王役など。第44回新潟県音楽コンクール大賞受賞、第27回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。二期会会員。

公演情報

アートステージ音楽祭2016《アートステージ妙高推進事業》

珠玉のオペラ・合唱の祭典—オペラ『椿姫』ハイライト—

12/4(日) 妙高市文化ホール ※公演の詳細はP6

ファンタスティック・ガラコンサート2016

12/29(木) 神奈川県民ホール

みずほフィナンシャルグループ 第28回 成人の日コンサート2017

1/9(月・祝) サントリーホール

ニューイヤー・オペラ・ガラ・コンサート

1/21(土) 所沢市民文化センター ミューズ アークホール

モーツァルト作曲 オペラ『魔笛』全2幕

3/19(日) 神奈川県民ホール



～子どもとワクワク・ドキドキを～

親子で楽しもう

🎵 ミュージカル・演劇・舞踊

東京バレエ団
「くるみ割り人形」全2幕

12/23(金・祝) 14:00

柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール

チャイコフスキーの3大バレエの1つで、クリスマス・イヴを舞台とした年末の風物詩とも言える本作品を、オーケストラの生演奏と共にお届けします！13:15からの指揮者やコンサートマスターによるプレトークもお楽しみください。



Photo:Kiyonori Hasegawa

出演:クララ / 渡辺理恵、くるみ割り王子 / 柄本弾、東京バレエ団、井田勝大(指揮)、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団(演奏)

料 金	お問合せ
全席指定 S席 / 一般 6,000円 高校生以下 4,000円 A席 / 一般 4,500円 高校生以下 2,500円	柏崎市文化会館アルフォーレ 0257-21-0010

※未就学児の入場はご遠慮ください。
【主催】新潟県、柏崎市文化会館アルフォーレ、新潟県次世代の舞台芸術担い手育成事業実行委員会

🎨 美術展・写真展

みんな大好きアンパンマン!

アンパンマンとやなせたかし展

1/15(日)まで 新潟市美術館

9:30~18:00 (券売は17:30まで) 月曜、年末年始(12/29~1/1)休館 ただし、12/26、1/2、9は開館

アンパンマンを描いたキャンパス画のほか、『やさしいライオン』などの絵本原画、直筆の漫画や詩の原稿を中心とした約350点で、やなせの多彩な軌跡をたどります。



「とんでるアンパンマン」©やなせたかし/フレーベル館・TMS-NTV (公財)やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団蔵

【主催】アンパンマンとやなせたかし展実行委員会 (新潟市美術館、TeNYテレビ新潟)

関連イベント
美術講座「やなせたかしの哲学～何のために生きるのか～」 12/17(土) 14:00~15:30
上映会「アンパンマンとクリスマスの星」 12/24(土) ①11:00~ ②14:00~
お正月もちつき大会 1/6(金) 11:00~13:00 (予定)
料 金
一般 1,100円 高校・大学生 900円 中学生以下 無料
お問合せ
新潟市美術館 025-223-1622

📍 イベントなど

魚沼市小出郷文化会館 開館20周年記念事業
キッズ・クリスマス・ステージ

12/23(金・祝) ①10:30 ②13:30

魚沼市小出郷文化会館

地元子どもたちによる、かわいい歌とおどりのステージをお楽しみください!

出演:むいかまちこども園、小出保育園、バトン・ダンス・よさこい団体 他



©2016 テレビ朝日・東映AG・東映

関連イベント
動物戦隊ジュウオウジャーショー ①11:20 ②14:30
料 金
全席自由 一般 1,200円 小学生以下 500円 (当日各300円増) 3歳以下 無料
お問合せ
魚沼市小出郷文化会館 025-792-8811

【主催】魚沼文化自由大実行委員会、(株)カンコー

新潟イベント情報

県内で行う様々な催物をお届けします。
会場に足を踏み入れると、そこは別世界。
是非、体感してみてください。

「新潟イベント情報」への掲載をご希望の方は、下記までご連絡ください。
次号vol.90は、2月下旬発行予定です。1/15(日)までに、3月～5月の催物情報をお寄せください。

(公財)新潟県文化振興財団 事業課「カルチャーにいがた」係

TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818 E-mail jigyou@niigata-bunka.jp

※「助成事業」は(公財)新潟県文化振興財団助成事業です。
※主催者等の都合により、内容等が変更になる場合があります。また、未就学児は入場不可場合があります。☺️託児ありの公演には託児室を設置します。(要予約)
詳細については、各問い合わせ先へご確認ください。

ホームページ「新潟文化物語」にも各種催物情報を掲載しています。
掲載をご希望の方はホームページ上から登録をお願いします。

新潟文化物語 検索

分野別アイコン コンサート ミュージカル・演劇・舞踊 古典・伝統 美術展・写真展 イベントなど

古典・伝統 託児あり

太鼓芸能集団 鼓童創立35周年記念
鼓童ワン・アース・ツアー2016～螺旋

11/30(水) 19:00 南魚沼市民会館
12/1(木) 19:00 新潟県民会館 大ホール

坂東玉三郎の演出のもとで、
進化を続ける鼓童。
過去から未来へと螺旋を描きながら進化して行く迫力のステージ、ぜひ、お楽しみください!!



料 金 南魚沼公演 全席指定 5,500円(当日500円増)
新潟公演 全席指定 S席 6,000円 A席 5,000円
※南魚沼公演のみ当日・学生(18歳以下)キャッシュバック(2,000円)あり。要学生証。
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 南魚沼市民会館 025-773-5500 新潟県民会館 025-228-4481

【主催】TeNYテレビ新潟、(公財)南魚沼市文化スポーツ振興公社(南魚沼公演のみ)、(公財)新潟市芸術文化振興財団(新潟公演のみ)

コンサート 託児あり

オーケストラ・アンサンブル金沢 上越公演

12/2(金) 18:30 上越文化会館 大ホール

マエストロ・ピヒラーのモーツァルト&ロッシニニ集。
モーツァルト国際コンクール優勝者 菊池洋子登場!
出演:ギュンター・ピヒラー(指揮)、菊池洋子(ピアノ)、
オーケストラ・アンサンブル金沢
曲目:ロッシニニ/歌劇『どろぼうかささぎ』序曲、
モーツァルト/ピアノ協奏曲 第26番 二長調「戴冠式」K.537、ロッシニニ/歌劇『ウィリアム・テル』序曲、モーツァルト/交響曲 第36番 ハ長調「リンツ」K.425



料 金 全席指定 S席 4,000円 A席 3,000円 B席 1,000円
※25歳以下、S・A席半額(年齢を証明できるもの持参) ※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 上越文化会館 025-522-8800

【主催】上越文化会館、(公財)石川県音楽文化振興事業団

コンサート 託児あり

第24回 アルカディア音楽祭 ～歓喜への歩み～

見附市文化ホール アルカディア

まちの彩コンサート
～まちが歌であふれる日～

12/3(土) 14:00

<第1部>まちのうたごえ
<第2部>すてきなソリストによる
スペシャル・ガラ

バロックから古典へ

12/4(日) 14:00

<第1部>G.F.ヘンデル 組曲「水上の音楽」より、
オトリオ「メサイア」HWV.56(抜粋)
<第2部>L.v.ベートーヴェン
ゲレルトによる6つの歌 op.48 より
「自然における神の栄光」、ピアノ・合唱・管弦楽のための
「合唱幻想曲」ハ短調 op.80

出演:船橋洋介(音楽監督・指揮)、佐藤初音(ソプラノ)、千葉菜々美(ソプラノ)、井坂恵(メゾソプラノ)、吉田一貴(テノール)、岩美陽大(バリトン)、菅野宏昭(バス・合唱指揮)、大瀬拓哉(4日ピアノ)、金子陽子(3日ピアノ)、アルカディア音楽祭管弦楽団、大関博明(コンサートマスター)、アルカディア音楽祭合唱団



関連イベント 12/4は13:30より大ホール・ホワイエにてアルカディア音楽祭管弦楽団メンバーによるロビー・コンサートを行います。

料 金 全席自由 2,200円(当日300円増) 2枚セット 3,500円(当日500円増)
小・中学生 12/3:無料(要整理券) 12/4:500円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

主 催 お問合せ アルカディア音楽祭実行委員会事務局(大塚) 0258-62-1813

コンサート

託児あり

アートステージ音楽祭2016《アートステージ妙高推進事業》
珠玉のオペラ・合唱の祭典 -オペラ『椿姫』ハイライト-

12/4(日) 14:00 妙高市文化ホール

数々の名曲で彩られたヴェルディ・オペラ『椿姫』。日本オペラ界の次代を担うホープ・高橋維をプリマドンナに迎え、この純愛と悲恋の物語をハイライトで上演いたします。市民公募による、妙高『椿姫』合唱団と新井吹奏楽団のトランペットパートも舞台上に登場!ソリストとの共演は必見です!

出演:飯坂純(指揮)、高橋維(ヴィオレッタ/ソプラノ)、土崎譲(アルフレード/テノール)、
豊島雄一(ジェルモン/バリトン)、西岡奈津子(エレクトーン)、黒澤有香(エレクトーン)、
妙高『椿姫』合唱団(合唱)、新井吹奏楽団(バンドトランペット)

<第1部>
オープニング:オペラ『タンホイザー』より「歌の聖堂をたたえよう」
ハイライト:乾杯の歌、そは彼の人か〜花から花へ 他
<第2部>
私たちはジプシーの娘、愛しい人よ、パリを離れて 他
エンディング:オペラ『アイダ』より「凱行進行曲」



料 金 全席自由 一般 1,000円 高校生以下 500円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 妙高市文化ホール 0255-72-9411

【主催】(公財)妙高文化振興事業団

コンサート 託児あり

第4回北区うたの祭典 ～世界の名曲を歌う～

12/18(日) 14:00 新潟市北区文化会館

4回目の今年のテーマは「世界の名曲を歌う」。昔から歌われ続けている世界各地の名曲をお届けします。ゲストにお迎えする新潟県内で活躍中のバリトン・鈴木至門さんのソロと、出演者達の心温まる歌声をご堪能ください。



音楽監督:長谷川正規 監修:松浦良治
出演:長谷川正規(指揮)、北区うたの祭典合唱団、北区少年少女合唱団、
鈴木至門(バリトン独唱)、せいろう少年少女合唱団、新潟少年合唱団、
北区フィルハーモニー管弦楽団(オーケストラ)

料 金 全席自由 一般 1,500円 中学生以下 1,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

主 催 お問合せ 新潟市北区文化会館 025-388-6900

コンサート

朱雀真由子 × 渡部美紀子
フルート・ピアノデュオコンサート

12/23(金・祝) 14:00 だいしホール

ドイツのドレスデン音楽大学で出会い、切磋琢磨しあってきた二人。「帰国したら二人でコンサートを」という夢がついに叶います。クラシックファンはもちろん、初めての方にも音楽を身近に感じてもらえるプログラムです。フルートとピアノの美しい響きをどうぞお楽しみください。



出演:朱雀真由子(フルート)、
渡部美紀子(ピアノ)
曲目:モーツァルト/ロンド 二長調 Anh.184、
チャイコフスキー/歌劇『エフゲニー・
オネーギン』レンスキーのアリア、
松任谷由実/春よ来い 他

料 金 全席自由 1,500円(当日300円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

主 催 お問合せ 080-4902-2132(渡部)

コンサート

第17回新潟第九コンサート2016

12/25(日) 14:00 リューとびあ コンサートホール

恒例となった新潟第九コンサートも今年で17回目を迎えます。総勢350名にも及ぶ大合唱。ホールに響き渡るその歌声はまさに圧巻です。1年に1度のこの機会をどうぞお見逃しなく。

出演:伊藤翔(指揮)、菊池美奈(ソプラノ)、林真咲(アルト)、
又吉秀樹(テノール)、
大久保光哉(バリトン)、
新潟交響楽団(管弦楽)、
箕輪久夫(合唱指揮)、
新潟第九合唱団(合唱)



料 金 全席指定 SS席 4,000円 S席 3,000円
A席 2,000円 B席 1,000円

主 催 お問合せ 新潟第九コンサート実行委員会 025-268-1354(西本)

コンサート 託児あり

にいがたジルヴェスター・コンサート2016

12/31(土) 22:00 りゅーとびあ コンサートホール

にいがたジルヴェスター・コンサート“第5回”を記念しての「第5」特集!秋山和慶を指揮に、東京交響楽団と豪華ソリストを迎えて贈る年越しガラコンサートです。新潟銘酒「八海山」ほか、お土産を全員にプレゼント。また抽選でカーブドッチワインほか、すてきな景品をプレゼント!

出演:秋山和慶(指揮)、郡愛子(司会、メゾ・ソプラノ)、高橋薫子(ソプラノ)、南紫音(ヴァイオリン)、金子三勇士(ピアノ)、山本真希(オルガン)、東京交響楽団



曲目:ベートーヴェン/交響曲第5番「運命」より、ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第5番「皇帝」より、モーツァルト/ヴァイオリン協奏曲第5番「トルコ風」より他

料金 全席指定 SSプレミアム席 完売 S席 9,000円 A席 7,000円 B席 5,000円 C席 3,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ りゅーとびあチケット専用ダイヤル 025-224-5521

【主催】(公財)新潟市芸術文化振興財団

コンサート

新潟ARS NOVA 新春コンサート (東北電力スクールコンサート10周年記念)

1/8(日) 14:00 新潟市音楽文化会館

県内の小中学生に音楽の楽しさと感動を伝えようと、これまでに53会場75校にも渡って様々な活動を行ってきた「新潟ARS NOVA」。今年はその10周年を記念し、新春にファミリーコンサートをお贈りします!



出演:新潟ARS NOVA 共演:武藤祥圃(箏)、品田真彦(ピアノ)、笠原恒則(チェンバロ) 曲目:宮城道雄/春の海、ピゼー/カルメン「間奏曲」、ハチャトリアン/剣の舞 他



料金 全席自由 親子ペア 3,000円 一般 2,500円 小・中学生 1,000円(当日各500円増)

主催 お問合せ にいがた音楽の森 025-260-2603(小西) 025-388-4851(高松)

コンサート 託児あり

ニューイヤーコンサート オルガン&フルート

1/20(金) 13:30 長岡リリックホール コンサートホール

クラシックから映画音楽まで、幅広いジャンルのプログラムをお届けします。トーク付きの気軽楽しめる温かい雰囲気コンサートです。

出演:山本真希(オルガン)、仲野享子(フルート)



曲目:J.S.バッハ/主よ、人の望みの喜びよ、J.S.バッハ(グノー)/アヴェ・マリア、サウンドオブミュージック/メドレー、マイフェアレディ、ホール・ニュー・ワールド 他

料金 全席指定 新春特別価格 500円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催 お問合せ (公財)長岡市芸術文化振興財団 0258-29-7715

コンサート

第29回新潟ジャズストリート

1/21(土) 新潟市内 全30会場

※公演スケジュールはお問合せ先まで 新潟のまちを明るく元気に!そして音楽の溢れる楽しいまちにしたい!そんな願いからはじまったジャズストリートも29回目となりました。新潟市内のみならず、県内外からもミュージシャンが集まり様々なスタイルのJAZZを繰り広げます。新潟の街を音楽のテーマパークに!



出演:ブルーノートジャズオーケストラ、君英夫クワルテット+星とよ子、リバーサイド・ジャズバンド 他 全157組



料金 1日フリーパス券 1,000円(全会場共通)

お問合せ 新潟ジャズストリート実行委員会 025-223-4349

【主催】NPO法人新潟ジャズストリート実行委員会、新潟市

コンサート 12月初旬発売予定

合唱団NEWS 第19回演奏会

2/11(土・祝) 14:30 だいしホール

合唱団NEWSは新潟市出身の作曲家・佐藤さおりさんへの無伴奏混声合唱曲の委嘱、初演を数多く行い、それらの作品を大切に歌い続けることを核として活動しています。ここでしか味わえない音空間に浸りに来てください!

曲目:松下耕/どうぶつえん、新見徳英/このみちゆけは、佐藤さおり/無伴奏混声合唱のためのアルバムIII ~en songeant au Japon~ 全曲 他



料金 全席自由 500円 小・中学生 無料 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催 お問合せ 合唱団NEWS 090-6483-3834(霜鳥)

コンサート

横田千恵子 ソプラノリサイタル ~心に響く流麗な歌声~

2/12(日) 14:00 新潟市江南区文化会館

新潟田市在住の横田千恵子が、満を持して初リサイタルを開催します!賛助出演には藤原歌劇団の名バリトン・牧野正人を迎え、澄み渡るソプラノで心に響く流麗な歌声を皆さまにお届けします。



出演:横田千恵子(ソプラノ) 賛助出演:牧野正人(バリトン)、八子真由美(ピアノ) 曲目:ヘンデル/オペラ『ジュリアス・シーザー』より「優しいまなざしよ」、トマ/オペラ『ハムレット』より「お友達のみなさん私も仲間に入れてください(狂乱の場)」他

料金 全席自由 2,000円(当日500円増) ※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催 お問合せ 横田千恵子コンサート実行委員会 080-5467-9778

美術展・写真展

ドナルド・キーン 石川啄木の日記を読み解く 最初の現代日本人展

12/25(日)まで ドナルド・キーン・センター 柏崎 10:00~17:00 (入館は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日)

ドナルド・キーン先生が石川啄木の「ローマ字日記」に出会ったのは、日本留学中の1954年。以来、キーン先生は60年以上にわたって啄木の研究を続け、今年、評伝『石川啄木』を発表しました。本展ではキーン先生がその作中で浮き彫りにした「現代日本人」としての啄木を、啄木の日記を中心に据えて紹介いたします。



料金 一般 500円 中・高校生 200円 小学生 100円

お問合せ ドナルド・キーン・センター 柏崎 0257-28-5755

【主催】(公財)ブルボン吉田記念財団

占いとまじない 一今に伝わる中世の習俗

1/9(月・祝)まで 新潟市文化財センター(まいぶんポート) 9:00~17:00 月曜(祝日の場合はその翌日)、12/26~1/3 休館

新潟市南区馬場屋敷遺跡からは、鎌倉時代の祭祀遺構が複数発見され、20点以上の呪符木簡(まじない札)が、何千本もの箆や串状の木製品と共に出土しています。道教・仏教(密教)・陰陽道・宿曜道などの様々な宗教が融合した中世の習合思想がわかる貴重な呪符木簡とともに、的場遺跡出土の形代(人形・馬形)、まじない関係の民俗資料も併せて展示します。



料金 入場無料

主催 お問合せ 新潟市文化財センター(まいぶんポート) 025-378-0480

馬場屋敷遺跡出土の木製品

良寛と巻菱湖 越後が生んだ幕末の二人の書人

12/13(火)~1/15(日) 新潟県立近代美術館 9:00~17:00 (券売は16:30まで) 12/19、26、29~1/3、10 休館

良寛と巻菱湖とは、いずれも幕末期の越後出身の書人。巻菱湖の書は幕末期一世を風靡し「幕末の三筆」に数えられています。一方、同時期に越後で過ごした禅僧良寛は、独特な書が今日知られています。この越後の生んだ二人の書人それぞれの書の魅力を探ります。



料金 一般 700円 高校・大学生 500円 中学生以下 無料

主催 お問合せ 新潟県立近代美術館 0258-28-4111

良寛《漢詩「風気稍和調」》個人蔵 重要文化財 巻菱湖《漢詩》(右隻)部分 新潟県立近代美術館蔵

西区の隠れた名品展・新津美術館所蔵品展

11/26(土)~12/25(日)まで 新潟市新津美術館 10:00~17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館(ただし、12/19は開館)

学校や公共施設等が所蔵する美術品を、市内の区ごとに一堂に集めて紹介する「隠れた名品展」シリーズ。5回目となる今年度は西区を取り上げます。地域で大切にされてきた美術作品に懐かしい景色をみたり、新しい発見をしたり、「隠れた名品」の数々をお楽しみください。あわせて、新津美術館で近年所蔵された作品、新潟にゆかりのある作品も紹介します。



料金 一般 500円 高校・大学生 300円 中学生以下 無料

主催 お問合せ 新潟市新津美術館 0250-25-1300

安宅安五郎(ベルシヤの陶器)1923年以前 新潟大学理学部蔵

長岡の偉人展

12/17(土)~1/29(日) 長岡市立科学博物館 9:00~17:00 (入館は16:30まで) 第1・3月曜(祝日の場合はその翌日)、12/28~1/4 休館

長岡藩第9代藩主で老中を勤めた牧野忠精。彼は得意の画技で人間社会のさまざまな場面を諷刺しました。また、幕末の長岡藩軍事総督河井継之助秋義、連合艦隊司令長官山本五十六など、長岡ゆかりの偉人の書画、約10点を初公開します。長岡で育まれてきた文化の個性や偉人の意外な人物像を探ります。



料金 入場無料

主催 お問合せ 長岡市立科学博物館 0258-32-0546

長岡藩第9代藩主牧野忠精(まきのただよき)1760~1831の書

第31回新春美術展・いけばな展

1/26(木)~1/30(月) 加茂文化会館 9:00~17:00 (最終日は15:00まで)

平成28年度の県展・芸展に入選入賞された加茂市在住の方の作品及び、加茂市展に入賞された方の作品を一堂に集めた作品展を開催します。市民芸術の粋を集めた作品は日本画をはじめ、工芸、書道、写真など幅広いジャンルの加茂の美術界を紹介しています。また、加茂いけばな協会が選んだ各流派のいけばな展も同時開催し、会場を華やかに彩ります。



料金 入場無料

主催 お問合せ 加茂文化会館 0256-53-0842

ボランティア企画

「廻船問屋のまち—上大川前通—」(江戸から大正頃)

2/12(日)まで 新潟市文化財 旧小澤家住宅
9:30~17:00 月曜、12/26~1/3、2/1~6 休館

旧小澤家住宅は上大川前通に面しています。上大川前通は江戸時代から現在まで残る古い通りで、かつては廻船問屋が軒を連ねていました。本展覧会では、当館ボランティアが近辺の上大川前通をテーマに変わりゆく街並の歴史や魅力を紹介します。



明治初年の新潟町絵図(部分)



絵図からの調査の様子

料 金	一般 200円 小・中学生 100円 ※土・日・祝日は小・中学生 無料
主 催 お問合せ	新潟市文化財 旧小澤家住宅 025-222-0300

<冬季特別展示>

錯覚展—不可能立体の不条理世界—

1/7(土)~2/28(火) 池田記念美術館
9:00~17:00 (入館は16:30まで) (最終日は15:00まで) 水曜休館

実際とは違うように見えてしまう錯視立体を、「だまし絵立体」、「不可能モーション立体」、「変身立体」、そして「透身立体」の4つの世代の不可能立体に分類してご紹介します。本当のことがわかっていても、それとは別のものを勝手に思い浮かべてしまう脳の不条理なる振る舞いを体感してみませんか。



変身立体「花と蝶」 写真提供:明治大 杉原厚吉特任教授

関連イベント
作品解説会・講演会(予定)
1/14(土)、1/15(日)

料 金	一般 500円 高校生以下 無料
主 催 お問合せ	池田記念美術館 025-780-4080

すてきな布 —アングン研究100年—

1/21(土)~3/20(月・祝) 新潟県立歴史博物館
9:30~17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日)

すてきな布アングン。植物樹皮を材料とし、その製作技術は縄文時代に遡ると考えられる。現在発見されている場所は新潟県の東頸城・魚沼地域のみ。研究の歩みとアングンの復元を通して、その魅力を伝えます。

関連イベント
講座「布を読み解こう~糸づくりに注目して~」
1/21(土) 13:30 要申込(定員50名)
講師:陳玲(新潟県立歴史博物館主任研究員)
講座「縄をつくる~布をつくるために~」
1/28(土) 13:30 要申込(定員25名)
講師:宮尾亨(新潟県立歴史博物館専門研究員)
講演会「アングンと日本のタテ織り織物」
3/5(日) 13:30 要申込(定員150名)
講師:吉本忍氏(国立民族学博物館名誉教授)



アングン(中魚沼郡津南町樽田)新潟県立歴史博物館所蔵

料 金	一般 610円 高校・大学生 400円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	新潟県立歴史博物館 0258-47-6130

鴻池朋子展「皮と針と糸と」

12/17(土)~2/12(日) 新潟県立万代島美術館
10:00~18:00 (券売は17:30まで) 12/19、28~1/3、16、30 休館

絵画、彫刻、映像などの手法を駆使し、現代の神話を描く鴻池朋子の個展です。

関連イベント
鴻池朋子 アーティスト・トーク
12/17(土) 14:00 申込不要
アートコンプレックス&トーク「冬の遠吠え」
12/23(金・祝) 14:00 着席希望は要申込(先着50名)
出演:山川冬樹(ホーメイ歌手・アーティスト)、鴻池朋子
私たちの内奥に眠る動物の声を覚醒させ、美術館全体に新たな身体感覚の道路を出現させます。
トーク「針と糸は物語る~現代のおとぎ話を縫う」
1/21(土) 14:00 着席希望は要申込(先着50名)
出演:村井まや子(神奈川大学外国語学部教授 比較文学・おとぎ話)、鴻池朋子



鴻池朋子 <着物 鳥> 2015年 ©Tomoko Konoike

料 金	一般 1,000円 高校・大学生 800円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	新潟県立万代島美術館 025-290-6655

古備前を超えた 稀代の陶芸家 森陶岳 展

1/5(木)~3/18(土) 敦井美術館
10:00~17:00 (入館は16:30まで) 日曜・祝日休館

平成27年1月4日に、長さ85mにも及ぶ巨大な新大窯に火入れをし、見事焼成に成功した備前焼の陶芸作家・森陶岳の初期の作品から、新大窯焼成の最近作まで、約30点を一堂に展示し、その偉業を顕彰します。



森陶岳「彩文 大甕壺」(1975)

料 金	一般 500円 高校・大学生 300円 小・中学生 200円
主 催 お問合せ	敦井美術館 025-247-3311

世界の子どもたち 丸山正三展

2/18(土)~3/20(月・祝) 弥彦の丘美術館
9:00~16:30

平成28年度企画の第6弾として、長岡造形大学所蔵の丸山正三の洋画展。丸山正三画伯が出会った世界の子どもたちを、生き生きと描写した作品を展示します。世界の子どもたちに注がれているそのまなざしは、いつもやさしく慈愛に満ちています。この機会にぜひ、そんな丸山正三氏の世界に触れてみませんか。



「小春日」2000年 65.1cm×80.3cm(長岡造形大学 所蔵)

料 金	一般 300円 小・中学生 150円
主 催 お問合せ	弥彦の丘美術館 0256-94-4875

文化庁 平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

新潟県次世代の舞台芸術 担い手育成事業

県内の文化施設等からなる「次世代の舞台芸術担い手育成事業実行委員会」では、子どもたちが優れた文化芸術に気軽に触れることができる機会を積極的に提供し、次世代の舞台芸術を担う人材を育成するため、県内各地で公演を実施します。この事業には文化庁の「文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業」を活用しています。

※P4の東京バレエ団「くるみ割り人形」も対象事業です。

<参加団体> 糸魚川市民会館・魚沼市小出郷文化会館・柏崎文化会館アルフォーレ・上越文化会館・新潟市北区文化会館・りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館・新潟県・(公財)新潟県文化振興財団

コンサート 託児あり(上越公演のみ)

これが聴きたい!アンコール“超名曲”ベスト20! チェコ・フィル・ストリング・カルテット

1/28(土) 14:00 上越文化会館 大ホール
1/29(日) 14:00 新発田市民文化会館

名門チェコ・フィルの名手たちが贈る幸せいっぱいひと時!誰もが知っているクラシックの名曲から、タンゴ、デューク・エリントン、ビートルズまで永遠に色褪せることない、珠玉の名曲をお楽しみください。

曲目:G線上のアリア、ユモレスク、乙女の祈り、ドナウ川のさざ波、ミッシェル、ラ・クンバルシータ、A列車で行こう 他



料 金	全席自由 2,000円(当日500円増) 中学生以下 無料(要学生チケット) ※未就学児の入場はご遠慮ください。
お問合せ	上越文化会館 025-522-8800 新発田市民文化会館 0254-26-1576

ミュージカル・演劇・舞踊 託児あり

りゅーとびあ演劇スタジオ キッズ・コース APRICOT 2017春季公演

3/18(土)・3/19(日) 時間未定
新潟市江南区文化会館 音楽演劇ホール

APRICOTメンバーが演出を担当し、子どもならではのアイデアとユーモアで創作した作品を上演します。新潟市江南区文化会館を会場に、エネルギーあふれるお芝居をお楽しみください。

演出・出演:APRICOT
監修:笹部博司、戸中井三太、内堀照子、西潟明美



2016春季公演「砂の妖精」

料 金	入場無料(要申込) ※4歳未満の入場はご遠慮ください。
お問合せ	りゅーとびあ 025-224-7000

コンサート

シエナの響きシリーズ (シエナ・サクソ、シエナ・プラス5)

12/3(土)・2/4(土) 各13:30
上越文化会館 大ホール

日本で一番人気の吹奏楽プロ集団、シエナ・ウインド・オーケストラの小編成コンサート。木管、サクソ、金管のそれぞれの響きを身近に味わい、その後は小中、高大の2グループに分かれてワークショップを実施。テクニックを高める事で音楽の面白さをより感じ、地域全体の音楽が華やぐことが期待されます。



料 金	全席自由 1,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
お問合せ	上越文化会館 025-522-8800

ミュージカル・演劇・舞踊 託児あり

小川未明 子どもたちの朗読とフラメンコ 「港についた黒んぼ」

3/12(日) ①13:00 ②16:00
上越文化会館 大ホール

地元・上越市出身であり「日本のアンデルセン」と呼ばれる児童文学作家・小川未明作品を広く若い世代から親しみ感じてもらうため3年計画で、子どもたちの朗読と、日本トップクラスの表現力と求心力を持つ「鍵田真由美・佐藤浩希フラメンコ舞踊団」のフラメンコを融合したステージをお届けします。

出演:鍵田真由美・佐藤浩希フラメンコ舞踊団、地元の小中学生



料 金	全席自由 1,000円 ※3歳未満の入場はご遠慮ください。
お問合せ	上越文化会館 025-522-8800

ミュージカル・演劇・舞踊 託児あり

いといがわステージライブ・卒業公演(仮称)

3/19(日) 時間未定
青海総合文化会館 大ホール

ひすいジュニア合唱団・劇団きららキッズ、舞台芸術集団シーシャイン、さらに公募の市民による「ジュニア・ミュージカル・オペラ」と「演劇舞台総合技術体験」の2つのワークショップを開催し、その集大成として、「ミュージカル」と「演劇」それぞれの舞台発表を行い、今後の活動に繋げて行きます。

出演:ワークショップ参加者
演出:ミュージカル「サウンドオブミュージック」、創作劇「どこに居たどて」



料 金	全席自由 500円(協力金) 高校生以下 無料(要入場整理券) ※未就学児の入場はご遠慮ください。
お問合せ	糸魚川市民会館 025-552-5900

平成29年度文化活動支援助成事業募集

県民の皆様の自主的な文化活動の活発な展開と個性豊かな文化活動の創造を願って、音楽、美術、演劇、舞踊、文学、映画、生活文化などの下記対象事業に対して支援活動を行っています。

事業区分	対象事業	助成金	平成29年度申請期間
県民文化活動推進事業	自主企画による文化事業で県民の文化に対する関心を高め、日常の文化活動を活発にする事業 (平成29年4月～平成30年3月開催分)	助成対象経費の1/3 (上限100万円 下限10万円) ※ただし、助成対象経費から入場料、参加料、補助金、助成金等の収入を控除した額を上限とする。	平成29年 2月1日(水) ～ 2月13日(月)

お問合せ 公益財団法人 新潟県文化振興財団 事業課
TEL : 025-228-3577 WEB : <http://www.niigata-bunka.jp>

平成28年度文化活動支援助成団体決定

平成28年度国民文化祭参加事業は下記の通り決定しました。

事業区分	申請団体名	所在地	事業名	開催日	会場
国民文化祭参加事業	新潟県かるた協会	三条市	第31回国民文化祭・あいち2016 小倉百人一首競技かるた全国大会	11月5日、6日	愛知県武道館
	特定非営利活動法人 保倉川太鼓	上越市	第31回国民文化祭・あいち2016 こども和太鼓フェスティバル	11月27日	大治町スポーツセンター

ご寄付をお願いします

皆様のご支援が、これからの新潟の文化・芸術振興の大きな力となります。



新潟文化情報誌「カルチャーにいがた」を年4回発行しています。



新潟県民が優れた文化芸術に気軽に触れることのできる機会を提供します。



アール・ブリュット展in上越2 県内の文化団体等の事業を支援しています。

財団では、昭和56年(1981年)の設立以来、県民の皆様一人ひとりが心の豊かさを実感できるよう、県民の皆様が自主的に取り組まれる文化活動を支援させていただき、事業や県民の皆様が優れた文化・芸術に触れていただく機会を提供する事業などを行ってまいりました。

今後も安定的に県内における文化活動の支援に取り組むため、このたび、多くの文化・芸術を愛する皆様からご支援をいただき、寄付制度を創設致しました。何卒、財団の事業趣旨にご理解とご賛同をいただき、ご寄付をお寄せいただけますようお願い申し上げます。

なお、財団は「特定公益増進法人」となっており、ご寄付をお寄せいただいた個人、法人の皆様には税制優遇措置が適用されます。

お問合せ 公益財団法人 新潟県文化振興財団 総務課
TEL : 025-228-3700 WEB : <http://www.niigata-bunka.jp>

Culture Niigata

●発行回数 年4回(5月、8月、11月、2月)

●発行部数 15,000部

●配布先 市町村、公民館、文化施設、金融機関、大学等

●発行 公益財団法人 新潟県文化振興財団

TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818

E-mail jigyou@niigata-bunka.jp WEB <http://www.niigata-bunka.jp>

Address 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-13

「カルチャーにいがた」送付について

「カルチャーにいがた」をご希望の方には郵送料実費にてお送りしています。住所、氏名、希望する部数を明記の上、返信用切手(140円/1冊)を添えて、新潟県文化振興財団までお申し込みください。複数冊ご希望の場合はお問い合わせください。



— シリーズ —

URAKATA

裏を語る

舞台裏から、芸術の新たな魅力を発信!

新国立劇場 大道具統括責任者
関 和明

舞台を制作しているのはアーティストだけではない。音楽・文化・芸術をもっと身近に感じてもらうためここでは裏方で活躍する人々を紹介。第六回は「大道具」の仕事について東京・新国立劇場の大道具統括責任者である関和明さんに話を聞いた。

作品の世界観を語るため 必要なセットを組み立てる

幕が上がると、舞台上に家屋など建物のセットや、風景などを描いた背景画が忽然と現れる。そのあまりの美しさ、精巧さに驚かされることも多い。こうした舞台装置を組み立て、作品の世界観を形作るのが、大道具と呼ばれる人たちだ。

「裏方の仕事には、演出家や舞台監督、照明、音響などいろいろありますが、その中でも舞台の大元、土台づくりを担うのが大道具です」。そう語るのは、この道30年以上のベテランであり、現在は東京・新国立劇場の大道具統括責任者を務める関和明さん。

「建物のセットは『屋台』、風景や建物を描いた背景画を『書き割り』と私たちは呼んでいますが、こうした舞台装置は基本的に工場で作られます。ただ、トラックで運ぶために一度解体してしまう。だから、劇場には一つひとつのパーツの状態が届きます。それらを劇場内に搬入し、設計図に基づいて組み立てていく、いわゆる『仕込み』と呼ぶ作業がメインの仕事になります」

まさに本番に向けての用意全般を大道具が行うわけだ。失敗は許されないし、初日が決まっているだけにスピードも要求される。そのため、搬入の際、チーフは段取りや人員配置、役割分担を決め、スタッフはその指示に従い、効率よ

くかつ迅速に作業を進めていくことになる。また、舞台上での設置の際には、装置が安易に倒れないようしっかり固定させる必要がある。ただ、劇中で動かす必要のあるものは滑らかに動くよう工夫をしておかなければならない。車のついた屋台を動かす時には一定のスピードがいいのか、それとも出演者の動きや歌に合わせて動かすのがいいのか、その加減の調整も事前に行っておく。「スピードの加減は演出家の要望でだいたい決まります。演出家によっては、こういう心情のシーンだからこんな風に動かしてほしいと説明してくれます。具体的に意味づけが聞けると、その気持ちになって動かす速度を加減できるのでやりやすいし、こちらも楽しい気分になれますよね」

安全と安心を大前提に 100%の舞台を作る

大道具として安全に心を配ることも重要だ。仕込みの作業中、スタッフが怪我をしたり、事故が起こらないよう気をつけるのは当然だが、出演者への配慮も怠らないと言う。「本番中、出演者がよく触るものの表面にささくれがあったら、指をひっかけて怪我をする危険があるのでその部分を削ってきれいにします。また、ダンサーが演技中、床のマットのズブやヨレで転んだり、つまづかないよう幕間のたびに整えたりメンテナンスしたり。ロングラン公演の場合は、



舞台の土台を作るのが大道具 客席からの見栄えと 安全、安心にこだわりセットを組む

『フリック』の舞台仕込の様子。新国立劇場 小劇場

中日(なかび)にワイヤーの金具などの不具合がないか総点検を行います」

関さんは、さらに安心にもこだわる。芝居で使う椅子がたつきがあれば、事前に調整しておく。箱のフタを開けるシーンがあれば、そのフタの操作がスムーズに開閉できるよう細工を施しておく。「出演者が安心してパフォーマンスに集中できる環境を整えるのも私たち大道具の務めです」

たとえ観客の目に触れる場所でなくても細部にまで気持ちを行き届かせ、万全を目指す。舞台の出来を左右するし、演技にも影響するからだ。「この仕事は、100%完ぺきにできて当たり前なんです」

若手には 「たくさん失敗しろ」と その経験が大きな糧になるから

高校時代、専門学校の体験入学で初めて大道具という仕事があることを知った関さん。面白そうに感じたので、その学校の大道具専攻へ進んだ。「学生時代はいろんなところで大道具のバイトをしていました。武道館ではテレビでしか観たことのない人たちに

会えてワクワクしたし、展示会やイベントのバイトではもの作りの面白さを味わえました。そんな楽しい経験もあったせいか、迷うことなく大道具の道を選んでいましたね」

卒業後、浅草国際劇場に入り、24歳で東宝舞台へ転職。ステージ課に所属し、オペラやバレエの大道具に関わる。「ちょうど入社2、3年目の頃、青山劇場がオープンしたのですが、当時の上司が若手の私をこの劇場で東宝舞台が美術制作を担当する公演の大道具チーフに抜擢してくれたんです。一人でそこへ乗り込んで、段取りを決め、外注の、しかもほとんど年上の大道具さんを取りまとめ、初日までに舞台装置を完成させ、公演中の運営も行うというのはものすごいプレッシャーでした。でも、おかげでかなり鍛えられました」

38歳から関さんの“現場”は新国立劇場。現在は若い人にほとんど現場を任せているが、3年ほど前までが、チーフとして主にバレエ、オペラを担当することが多かった。中でも印象深いのは、『アイダ』というオペラを担当した時のことだと言う。

「直径2メートル、高さ10メートルほどの円柱を十数本立てて、パルテノン神殿みたいなセットを設置したのですが、何度やっても上部の欄間の向きが一定にならない。床に円柱の位置を固定させるのですが、一つでもその位置が1ミリでもズレると、全体としてもものすごいズレになってしまう。規模の大きな舞台ほどそれが目立ち、客席から見るとすごい違和感になるんです。だから舞台の場面を変える『転換』

のたびに舞台前から目視して調整していました。しんどかったです。苦勞した分、私にとっては忘れられない作品となりました」

これまでに失敗も多々あった。「数え上げたらキリがないほどですよ」と笑う。だが、若い人たちにはほとんど失敗しろと言うそうだ。「なぜなら、失敗するということはそれだけ、そいつがその作品に手を出しているということ。自分は失敗しないと豪語する人は、本当にすごいヤツか、何もしていないかのどちらかです」

失敗は全部自分のものとして身につく。なぜ失敗したのかを知ることによって、一つ覚えたことになるからだ。

今の関さんにとっての大きな課題は後進の育成だ。新国立劇場のやり方だけでは井の中の蛙になってしまうと思い、他の劇場に行って経験を積ませる機会も作るようにしていると言う。「現場によって専門用語もルールも異なるし、違う現場へ行けば知らない人たちと一緒に仕事をするようになる。そういう環境に身を置くことで、さらに自身の技術力も人間性も磨かれるんです」だからこそ、そういう経験を若い人たちにさせてあげたい。関さん自身がまさにそうであったように。

この仕事は確かに体力、忍耐の必要な、どちらかといえば、体育会系のような職種ではあるが、実は物理が好きな人にも向いているそうだ。

「舞台の天井に、物を吊るための『バトン』があるのですが、これを使い、物を吊る時に滑車を活用したり、大きなものや重いものをどうしたら動かせるのかを考えたりする際、物理の知識があると何かと便利なんです。あとは、ものしくみが気になる人にも合っている仕事だと思います」

大道具という仕事を、多くの若者に興味を持ってほしいと関さんは願っている。その受け皿としての職場環境も改善していきたいと考えているそうだ。

次号-シリーズ-URAKATAは制作・営業にスポットをあてます。



新国立劇場 大道具統括責任者 **関 和明**

1958年宮崎県生まれ。日本工学院専門学校卒業。浅草国際劇場で大道具として働き始める。24歳で東宝舞台へ転職。オペラやバレエの仕事に関わる。入社3年目、青山劇場オープンに伴い、同劇場の公演・大道具チーフを担当。30歳からフリーランスとなり、「放浪記」の東日本、西日本ツアー、ミュージカル「ピーターパン」など大道具チーフとして参加。38歳の時、新国立劇場オープンに合わせて設立した、舞台美術や機構運用を中心に美術設計、舞台衣裳を行う会社、(株)シアターコミュニケーションシステムズの立ち上げメンバーに。現在、同社常務取締役。